

第48回 関東ブロック研究大会茨城大会報告書

富士市PTA連絡協議会

会長 齋藤 直樹

第48回日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会に出席しての報告をさせていただきます。平成28年10月21日～22日 茨城県水戸市、ひたちなか市を中心に8分科会、そして全体会と7施設（会場）を使用し盛大に開催された。富士市からは松野顧問、深澤副会長、清副会長、渡辺家庭教育委員長、上野会計と私、計6名での参加、静岡県東部26名中部24西部22名県役員19名の全91名での参加となった。静岡県は日本PTAのブロック分けで関東ブロックに所属しています。その他参加の県、政令指定都市PTAなどを紹介します。

- ・新潟県PTA小中学校連合会
 - ・新潟市PTA小中学校連合会
 - ・栃木県PTA連絡協議会
 - ・千葉市PTA連絡協議会
 - ・群馬県PTA連絡協議会
 - ・さいたま市PTA協議会
 - ・茨城県PTA連絡協議会
 - ・横浜市PTA連絡協議会
 - ・長野県PTA連絡協議会
 - ・川崎市PTA連絡協議会
 - ・千葉県PTA連絡協議会
 - ・相模原市立小中学校PTA連絡協議会
 - ・埼玉県PTA連絡協議会
 - ・神奈川県PTA連絡協議会
 - ・山梨県PTA連絡協議会
 - ・静岡県PTA連絡協議会
- 16団体で関東ブロックが構成されている。

今回、茨城大会には約3000名のPTA会員が集まり研究大会が行われた。私が出席した分科会「地域のたから」へのメッセージ～子どもたちを中心とした社会のつながりを考える～講演者は(株)鹿島アントラーズ社長 井畑茂氏 演題は「鹿島アントラーズが地域に果たす役割～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～であった。プロのサッカー選手が地元幼稚園、小中学校へ毎年訪問し子どもたちに自分の持っていた夢を語ってくれるそんな機会を会社が率先して作り、地元と密着し地域と共に子どもたちを育てている様子が伺えた。鹿島アントラーズは当初Jリーグに99%入れないと言われていたそうだが、残り1%の可能性を地元と協力し合い情熱と地元愛により参入を実現されたそうだ。それは並大抵の努力ではなく、企業と、地元の子どもからお年寄りたちの理解とサッカークラブを愛する情熱によって成し遂げられたそうだ。事例発表においては新潟市立鏡淵小学校の芝生がつなぐ学校と地域～グランド芝生化の試み～が印象的であった。今回得た情報を富士市PTA活動に役立てまいります。

以上